

二まつ座

女く 星座

大正十一年
井上ひさし 作

音楽 宇野浩一
美術 志井徳司
照明 服部 基
音響 山本浩一
衣裳 中村洋一
髪付 佐藤松子
演出 藤野真理恵
演出助手 藤野真理恵
舞台監督 松香耕治
制作統括 井上麻矢



松岡依都美

久保 耐吉

村井 良大

栗野史浩

瀬戸 十まり

後藤 浩明

高倉 直人

小比類 大巻 諒介

木村 靖司

大庭 照明良



こまつ座 第146回公演

こまつ座 40周年

きらめく 星座

【井上ひさし全芝居その四】所収
新潮社刊

昭和庶民伝三部作 第一作

井上ひさし 作

栗山民也 演出



時代が押し付けける重い空気 そんな流れに負けず 懸命に生きた庶民たちの物語

刻一刻と暗い時代へと突入していく中、
求められるのは「軍国歌謡」か「敵性音楽」か。
太平洋戦争前年からの一年間を描いた
井上音楽劇の代表作。
綺羅星の如く集まった俳優たちと
栗山民也が時代の声に応えて上演。

昭和15年の東京・浅草の小さなレコード店「オデオン堂」に、四人の家族と無類の音楽好きの間
借り人ふたりが暮らしていた。『仮想敵国のジャズ』や『軟弱な流行歌』が流れるオデオン堂だが、
陸軍に入隊していた長男の脱走により、突如として「非国民の家」となる。
長女が傷痍軍人と結婚したこと、一転「美談の家」となるが、追ってきた憲兵伍長を巻き込ん
だ騒動は続き、やがて一家は否応のない時代の濁流に飲み込まれていく…。
数々の演劇賞に輝いてきた井上ひさしの私戯曲的作品が今また蘇る。



久保耐吉
(信吉)



松岡依都美
(ふじ)



栗野史浩
(源次郎)



村井良大
(正一)



後藤浩明
(森本)



瀬戸さおり
(みさを)



大鷹明良
(竹田)



木村靖司
(権藤)



高倉直人



小比類巻諒介

人間と人間が寄り集まって、
何もないところからある形の
あるものを作っていく。芝居
という作業は、神さまの仕事
なんですね。だから楽しいん
です。
——井上ひさし

受賞歴
平成29年度(第72回)文化庁芸術祭大賞
令和2年(第55回)紀伊國屋演劇賞個人賞
こまつ座
松岡依都美



旭川市民劇場で1992年
に上演され、感動の渦を
巻き起こしたこまつ座の
『きらめく星座』。31年の
時を経て再演されます。
あの感動をもう一度。

2023年/第332回 旭川市民劇場5月例会

5月11日(木) 午後6:30
12日(金) 午後1:30

上演時間 3時間(休憩15分含む)

会場/旭川市公会堂

旭川市常磐公園内(旭川市中央図書館隣り)

入会のご案内

入会金	2,000円
会費(月)	一般 2,800円
	大学生 1,000円
	中高生 500円

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。
詳しくは旭川市民劇場まで。

次例会のご案内

2023年7月例会
俳優座劇場プロデュース

『畏』

7月19日(水) 午後6:30
20日(木) 午後1:30

会場/旭川市公会堂

演出/松本祐子
出演/石母田史朗、加藤忍ほか

旭川市民劇場 旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館2F TEL0166-23-1655